学校番号	

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	エッセイ･ライティングⅠ	2	第Ⅰ学年	・美誠社「Breakthrough Upgraded The Keystone of English Grammar」 ・美誠社「Breakthrough Upgraded The Keystone of English Grammar Workbook」 ・美誠社「ブレイクスルー総合英語」 ・美誠社「ALL EARS Basic」

Ⅰ　担当者からのメッセージ（学習方法等）

エッセイライティングⅠの授業では、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、一つの段落あるいはまとまった文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える能力を養う。また、コミュニケーションを行う目的や場面・状況を設定し、それに応じた言語活動を、ペアやグループで多く行う。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第Ⅰ学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	①趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ②体を使った動作など一連の行動の手順について､ゆっくりはっきりと指示されればそのとおり行うことができる。	①有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ②簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。	簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	①身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ②身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の特徴やきまりに関する事項、対話の展開の仕方や論理構成について理解している。聞いたり読んだりしたことを活用しながら意見や主張など論理構成や展開を工夫して伝える技能を身につけている。 〈実施方法〉 ・定期考査	コミュニケーションを行う目的や場面状況に応じて日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて論理の構成や展開を工夫して伝えている。 〈実施方法〉 ・定期考査（応用問題等） ・小テスト	外国語の背景にある文化に対する理解を深め聞き手に配慮しながら主体的に英語を用いて伝えようとしている。 〈実施方法〉 ・活動ワークシート ・リスニング問題の取り組み状況 ・提出物等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Chapter1	話すこと （やりとり）	a: 平叙文･疑問文･命令文･自動詞･他動詞を用いた表現の特徴やきまりについて理解している。 b: クラスメートに興味のあることについて話すことができ、相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出すことができる。 c: クラスメートに興味のあることについて話すことができ、相手と会話を続けて、自分との共通点を探し出そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Chapter2	書くこと	a: 時制の一致や完了形の特徴やきまりについて理解している。 b: 日本の文化について書くことができる。 c: 日本の文化について書こうとしようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Chapter3	話すこと （発表）	a: 助動詞の特徴やきまりについて理解している。 b: 学校生活についてスピーチをすることができる。 c: 学校生活についてスピーチをしようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	第１考査			
	Chapter4	書くこと	a: 形容詞や分詞の特徴やきまりについて理解している。 b: ソーシャルメディアの使い方について書くことができる。 c: ソーシャルメディアの使い方について書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
2	Chapter5	話すこと （やりとり）	a: 不定詞について理解している。 b: 日常生活について話すことができる。 c: 日常生活について話そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Chapter6	話すこと （発表）	a:動名詞について理解している。 b: 趣味や娯楽についてスピーチすることができる。 c: 趣味や娯楽についてスピーチしようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Chapter7	書くこと	a: 分詞の特徴やきまりについて理解している。 b: ソーシャルメディアの使い方について書くことができる。 c: ソーシャルメディアの使い方について書こうとしている。	a: 定期考査等

				b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	第２考査			
	Chapter8	話すこと（発表）	a: 関係代名詞の特徴やきまりについて理解している。 b: 地元の有名な人やものを説明することができる。 c: 地元の有名な人やものを説明しようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Chapter9	書くこと	a: 比較級、最上級の特徴やきまりについて理解している。 b: 各国のデータを比べて書くことができる。 c: 各国のデータを比べて書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Chapter10	話すこと（発表）	a: 仮定法の特徴やきまりについて理解している。 b: 現実と違うことについて想像の話をすることができる。 c: 現実と違うことについて想像の話そうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	第３考査			
3	Additional 1-3	書くこと	a: 「ある」「いる」「なる」「するようになる」「かかる」の表現の特徴やきまりについて理解している。 b: 日本の人口問題について書くことができる。 c: 日本の人口問題について書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Additional 4-6	話すこと（やりとり）	a: 不定冠詞と定冠詞、代名詞の特徴やきまりについて理解している。 b: 権利と平等について話をすることができる。 c: 権利と平等について話をすることしようとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	Additional 7-8	書くこと	a: 前置詞、接続詞の基本的な用法を理解している。 b: 世界の問題について書くことができる。 c: 世界の問題について書こうとしている。	a: 定期考査等 b: 定期考査（応用問題等）、ワークシート等 c: 活動用ワークシートの取り組み状況等
	第４考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度